

日本外交文書

サンフランシスコ平和条約
準備対策

外務省

序

外務省では、明治維新以降の我が国外交の経緯を明らかにし、あわせて外交交渉上の先例ともなりうる基本的史料を提供する目的で、昭和11年に『日本外交文書』第1巻を公刊した。既に、明治期、大正期、ならびに昭和期Ⅰ（昭和2～6年）の編纂・刊行を終え、現在昭和期Ⅱ（昭和6～12年）を鋭意刊行中である。

一方、昭和戦後期への関心の高まりや同時期に関する研究の進展を受けて、戦後期『日本外交文書』の編纂に着手し、平成14年には「平和条約の締結に関する調書」を復刻・刊行した。

本巻は、来るべき平和条約の締結に備え、昭和20年10月から同25年9月まで外務省内で行われた準備研究に関する外務省記録を編纂・刊行するものであり、第1巻公刊以来通算195冊目の『日本外交文書』となる。

国際社会への復帰を目指した我が国の外交努力を顧みるにあたって、本巻が正確な史実を提供し、外交問題の歴史的研究に資するとともに、現在の国際関係を考察する上でも貢献できれば幸いである。

平成18年1月

外務省外交史料館長

例 言

- 1 本巻では、『日本外交文書 サンフランシスコ平和条約 準備対策』として、昭和20年10月から同25年9月まで、来るべき平和条約締結に向けて外務省が行った各種準備研究や、陳述書の作成、連合国との折衝などに関わる文書を収録した。
- 2 本巻に収録した文書は、外務省所蔵記録によった。
- 3 本巻では、刊行時において全文公開可能な文書のみを収録した。
- 4 収録文書は原則として原文のままとした。ただし、収録にあたっては横組みに統一した。
- 5 収録文書は一連文書番号および件名をゴシック体で付し、日付順に配列した。
- 6 本巻に収録するにあたって加えた注記は、(編注)として当該箇所にも明記し、その文面は各文書の末尾に記載した。
- 7 原文書に欄外記入がある場合は当該箇所にも(欄外記入)と付し、その文面は各文書の末尾に記載した。
- 8 収録文書中(省略)(ママ)等のカッコを付したルビは収録にあたって記したものである。
- 9 収録文書の作成日が不明な場合は、周辺情報等により推定される作成年月日をカッコを付した上で記した。
- 10 原文書の判読不可能な箇所は□をもって示し、入るべき文字が文脈上明白な場合は該当する文字をその上に記した。
- 11 収録文書中秘密指定があったものについては、秘、極秘など指定内容を明記したが、これらの秘密指定は全て解除されている。

目 次

I 準備研究

1 平和条約締結の方式および時期に関する考察 (昭和 20 年 10 月 22 日、条約局第三課) ……	3
2 平和条約問題研究幹事会の設置について (昭和 20 年 11 月 21 日) ……	12
3 平和条約問題研究の分担に関する件 (昭和 21 年 1 月 19 日) ……	13
4 国際通貨金融機構参加問題と平和条約【平和条約問題研究資料・経済条項 5】 (昭和 21 年 1 月 21 日、政務局) ……	14
5 想定される連合国側平和条約案と我が方希望との比較検討【平和条約問題 研究資料・一般問題 4】 (昭和 21 年 1 月 26 日、政務局) ……	16
6 平和条約締結問題の今後の成り行きに関する観測【平和条約問題研究資 料・一般問題 2】 (昭和 21 年 1 月 29 日、政務局) ……	22
7 経済条項の内容として採り上げられるべき具体的問題の想定とこれに対 する具体的方針【平和条約問題研究資料・経済条項 1】 (昭和 21 年 1 月 29 日、政務局) ……	24
8 松嶋・サンソム会見用資料 (昭和 21 年 1 月 30 日、政務局第一課) ……	27
付 記 上記英文	33
9 平和条約締結問題基本方針【平和条約問題研究資料・一般問題 1】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	41
10 平和条約の内容に関する原則的方針【平和条約問題研究資料・一般問題 3】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	42

11	国体および民主主義問題と平和条約【平和条約問題研究資料・政治条項 2】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	43	24	平和条約問題研究幹事会による第一次研究報告 (昭和 21 年 5 月、平和条約問題研究幹事会) ……	86
12	領土条項【平和条約問題研究資料・政治条項 3】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	46	25	平和条約問題研究幹事会の第二次業務計画について (昭和 21 年 5 月 22 日) ……	114
13	軍事条項【平和条約問題研究資料・政治条項 4】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	49	26	朝海・アチソン会談（第 2 回） (昭和 21 年 7 月 17 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……	117
14	国連憲章への参加問題【平和条約問題研究資料・政治条項 5】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	51	27	日本を当事国とする既存条約と平和条約との関係について (昭和 21 年 7 月 20 日、条約局条約課) ……	122
15	国籍問題と平和条約【平和条約問題研究資料・政治条項 6】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	52	28	国際連合への加盟問題について (昭和 21 年 9 月、条約局条約課) ……	129
16	産業制限問題と平和条約【平和条約問題研究資料・経済条項 3】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	60	29	朝海・アチソン会談（第 3 回） (昭和 21 年 10 月 7 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……	146
17	世界通商参加問題と平和条約【平和条約問題研究資料・経済条項 4】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	62	30	朝海・アチソン会談（第 4 回） (昭和 21 年 12 月 17 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……	150
18	移民問題と平和条約【平和条約問題研究資料・経済条項 6】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	63	31	朝海・マクマホン=ボール会談（第 1 回） (昭和 22 年 1 月 20 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……	154
19	交通制限問題と平和条約【平和条約問題研究資料・経済条項 7】 (昭和 21 年 1 月 31 日、政務局) ……	66	32	朝海・アチソン会談（第 5 回） (昭和 22 年 1 月 23 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……	166
20	平和条約の内容、締結時期に関する観測と基本的な準備施策方針について (昭和 21 年 1 月 31 日、条約局第一課) ……	68	33	朝海・アチソン会談（第 6 回） (昭和 22 年 3 月 12 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……	168
21	平和条約の内容に関する原則的方針の研究および連合国案と我が方希望 案との比較検討について (昭和 21 年 2 月 1 日、田付法規課長) ……	72	34	朝海・マクマホン=ボール会談（第 2 回） (昭和 22 年 4 月 15 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……	173
22	国際行政事項と平和条約 (昭和 21 年 2 月 12 日、条約局法規課) ……	77	35	平和条約各省連絡幹事会の設置について (昭和 22 年 5 月 17 日、外務省) ……	180
23	朝海・アチソン会談（第 1 回） (昭和 21 年 5 月 1 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……	82	36	平和条約に対する日本政府の一般的見解（第一稿） (昭和 22 年(5)月、萩原条約局長) ……	181
			付 記	上記文書に対する加瀬総務局参事官の意見 (昭和 22 年 6 月 5 日) ……	185

37 平和条約の準備資料について

(昭和 22 年 5 月 22 日、萩原条約局長) ……188

付 記 日本の現状に関する資料 ……189

38 対日平和条約の時期および起草手続きについて

(昭和 22 年 6 月 1 日、萩原条約局長) ……190

39 平和条約に対する日本政府の一般的見解 (第二稿)

(昭和 22 年 6 月 1 日、萩原条約局長) ……194

40 対日平和条約締結の時期について

(昭和 (22) 年 6 月 3 日、条約局条約課) ……197

41 平和条約に対する日本政府の一般的見解 (第三稿)

(昭和 22 年 6 月 5 日) ……201

42 安全保障問題に関する意見

(昭和 22 年 6 月 12 日) ……204

43 朝海・マクマホン=ボール会談 (第 3 回)

(昭和 22 年 6 月 24 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……206

44 「平和条約に対する日本政府の一般的見解」に対する意見聴取について

(昭和 22 年 6 月 24 日、条約局 西村) ……209

45 欧州 5 カ国の平和条約調印後における諸問題について

(昭和 22 年 7 月 1 日、条約局条約課) ……215

46 平和条約に関する日本側希望申し出の手順について

(昭和 22 年 7 月 2 日、萩原条約局長) ……224

47 朝海・アチソン会談 (第 7 回)

(昭和 22 年 7 月 3 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……226

48 「平和条約に対する日本政府の一般的見解」に関する諸問題について

(昭和 22 年 7 月 17 日、萩原条約局長) ……229

49 対日平和予備会議の招集と同会議をめぐる国際情勢について

(昭和 22 年 7 月 18 日) ……233

II 連合国との接触

50 アチソンに対する会談案

(昭和 22 年 7 月 24 日) ……245

付記 1 アチソンに提出すべき日本側要望案

(昭和 22 年 7 月 22 日、岡崎外務次官) ……247

付記 2 付記 1 に対する萩原条約局長の意見

(昭和 (22) 年 (7) 月、萩原条約局長) ……249

51 芦田・アチソン会談

(昭和 22 年 7 月 26 日、芦田外務大臣) ……249

52 平和条約締結後における日本の法的地位について

(昭和 22 年 7 月 26 日) ……254

53 芦田・ホイットニー会談

(昭和 22 年 7 月 28 日、芦田外務大臣) ……261

54 アチソンおよびホイットニーに手交した「芦田覚書」の返却について

(昭和 22 年 7 月 28 日、芦田外務大臣) ……262

55 片山・芦田・エヴァット会談

(昭和 22 年 7 月 31 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……265

56 朝海・プリムソル会談

(昭和 22 年 8 月 1 日、朝海終戦連絡中央事務局総務部長) ……270

57 国際委員会設置に関する閣議諒解案

(昭和 22 年 8 月 6 日) ……275

58 芦田・マクマホン=ボール会談

(昭和 22 年 8 月 11 日、芦田外務大臣) ……276

59 平和条約問題に関する研究業務の運営について

(昭和 22 年 8 月 29 日) ……280

60 平和条約準備対策の現状についての意見聴取

(昭和 22 年 9 月 3 日、萩原条約局長) ……281

61 鈴木・アイケルバーガー会談

(昭和 22 年 9 月 13 日) ……284

付記 1 アイケルバーガーに手交した平和条約締結後における

米軍の駐屯に関する文書 (昭和 22 年 9 月 13 日) ……291

付記 2 上記和文 ……294

62 審議室の設置およびその運営要領内規に関する高裁案

(昭和 22 年 9 月 15 日) ……296

63 安全保障問題への我が方関心につき米国政府へ伝達方芦田よりドレーパーへ依頼について

(昭和 22 年 9 月 19 日、芦田外務大臣) ……300

64 平和会議の見通しおよび日本の安全保障問題等について芦田とガスコインの対話

(昭和 22 年 9 月 24 日、芦田外務大臣) ……301

65 キャンベラ英連邦諸国会議について

(昭和 22 年 9 月 30 日、条約局条約課) ……302

66 平和条約締結後の日本の安全保障について

(昭和 22 年 10 月 6 日、芦田外務大臣) ……314

67 平和条約締結後の日本の安全保障問題に関する技術的考察

(昭和 22 年 10 月 18 日、萩原条約局長) ……316

68 片山・芦田・王会談

(昭和 22 年 10 月 25 日、芦田外務大臣) ……325

69 対日平和予備会議招請問題の現段階

(昭和 22 年 12 月、条約局条約課) ……328

Ⅲ 講和方式の検討

70 ドレーパー使節団と日本側関係者の会談について

(昭和 23 年 4 月、連絡調整中央事務局第二部) ……347

71 対日平和問題の現段階と「事実上の平和」の可能性について

(昭和 23 年 6 月 30 日、条約局条約課) ……354

72 「事実上の平和」の内容として要請される事項について

(昭和 23 年 12 月 25 日、総務局総務課) ……376

73 昭和 23 年審議室業務報告について

(昭和 23 年 12 月 28 日) ……384

74 条約審議室に特別委員会を設置する件に関する高裁案

(昭和 23 年 12 月 28 日) ……388

75 政策審議委員会設置に関する高裁案

(昭和 24 年 1 月 27 日) ……390

付記 1 政策審議委員会の運営方式案

(昭和 24 年 2 月 2 日) ……392

付記 2 政策審議委員会の採り上げるべき事項

(昭和 24 年 2 月 2 日) ……394

付記 3 政策審議委員会の運営にあたり注意すべき事項

(昭和 24 年 2 月 2 日) ……395

76 日本の安全を確保するための諸方法に関する考察

(昭和 24 年(5)月、条約局法規課) ……396

77 日本中立論に関する考察

(昭和 24 年 6 月 2 日、後宮管理局在外邦人課長) ……399

78 対日講和会議問題の新発展の見通し

(昭和 24 年 9 月 19 日) ……403

79 単独講和の可能性およびその利害得失について

(昭和 24 年 9 月 24 日) ……406

80 平和条約問題の今日の段階における措置について	
(昭和 24 年 10 月 3 日、萩原総務局参事官) ……	415

IV 多数講和の選択

81 対日講和問題をめぐる報道振りと各国の動向について	
(昭和 24 年 10 月 29 日) ……	423
付 記 追加資料	(昭和 24 年 11 月 4 日) ……427
82 対日講和問題をめぐる各国の動向について	
(昭和 24 年 11 月 4 日) ……	429
83 対日平和条約の諸問題	
(昭和 24 年 11 月 15 日、政務局政務課) ……	431
84 対日平和条約をめぐるソ連の立場に関する私見	
(昭和 24 年 11 月 17 日、曾野調査局第三課長) ……	435
85 経済援助協定締結に関する要望事項について	
(昭和 24 年 12 月 2 日) ……	438
86 講和に関する所見	
(昭和 24 年 12 月 2 日、有田元外務大臣) ……	439
87 多数講和における安全保障の基本方針について	
(昭和 24 年 12 月 3 日) ……	441
88 割譲地の経済的財政的事項の処理に関する陳述	
(昭和 24 年 12 月 3 日) ……	443
89 安全保障に関する陳述	
(昭和 24 年 12 月 8 日) ……	445
90 経済問題に関する特別陳述	
(昭和 24 年 12 月 8 日) ……	447

91 平和条約関係作業について	
(昭和 24 年 12 月 28 日) ……	450
付 記 平和条約問題作業分担	
(昭和 24 年 11 月 12 日、政務局総務課) ……	453
92 戦争状態終了の宣言について	
(昭和 25 年 1 月 24 日、西村条約局長) ……	454
93 吉田・ピアソン会談用資料	
(昭和 25 年 2 月 1 日) ……	463
94 セパレート・ピース成立後における平和条約不参加国との関係について	
(昭和 25 年 3 月 4 日) ……	468
95 天皇制について	
(昭和 25 年 3 月 13 日) ……	474
96 安全保障(特に軍事基地)に関する基本的立場	
(昭和 25 年 5 月 31 日) ……	483
付 記 上記文書(訂正版)	
(昭和 25 年 6 月 25 日、西村条約局長) ……	487
97 対日平和条約の経済的意義について	
(昭和 25 年 5 月 31 日) ……	492
98 講和と日本の安全保障	
(昭和 25 年 6 月 19 日、有田元外務大臣) ……	501
99 戦争状態終了宣言に関する総理への説明	
(昭和 25 年 7 月 10 日、西村条約局長) ……	510
100 双務的単独講和方式に関する考察	
(昭和 25 年 8 月 29 日、条約局条約課) ……	515
101 対日平和条約想定大綱	
(昭和 25 年 9 月) ……	519